

経済産業省の女性活躍推進施策について

令和5年1月

経済産業政策局

経済社会政策室

1. フェムテック等の活用による就業継続支援 (実証事業)

2. 女性起業家支援 (支援機関連絡会議、自治体向け研修)

フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金

- フェムテック企業、導入企業、医療機関、自治体等が、連携して実施する、妊娠・出産等のライフイベントと仕事の両立、ヘルスリテラシー向上等の個人のウェルビーイング実現に向けた実証事業に係る費用の一部を補助。
- サポートサービスの普及に係る課題等の解決を促進し、地域に根ざした連携の全国へのヨコ展開を図る。

補助対象事業

- フェムテック等※の製品・サービスを活用した、ウェルビーイング実現に向けた事業

【事業例】・女性の健康に関する理解促進に関する研修

- ・女性の健康やライフイベントに伴う悩みや不安に関する相談
- ・妊娠・出産、不妊治療、更年期障害等と仕事の両立サポート等

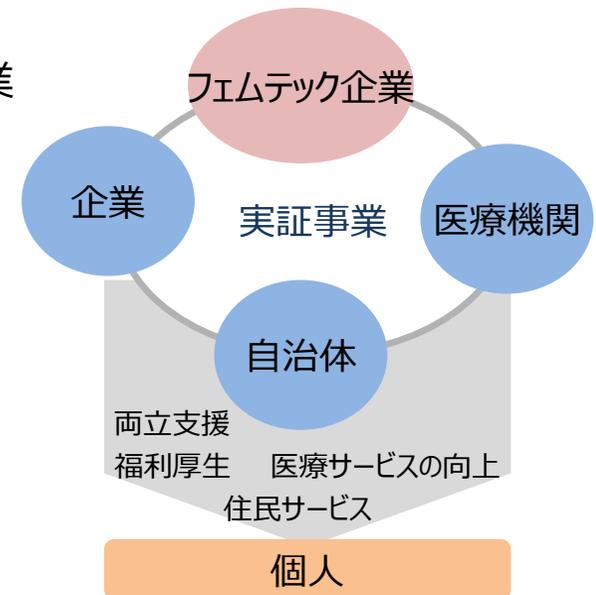
補助対象者

- フェムテック企業、導入企業、医療機関、自治体等による連携体
又は連携体を構成する事業者（単体又は複数をお問わない）

補助内容

- 事業費の2/3以内（上限500万円）
- 令和3年度は20件、令和4年度は19件の事業を採択

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



※本事業における「フェムテック等の製品・サービス」とは、女性がライフステージに応じて抱える健康の課題解決に資する事業全般を指しており、技術を利用した事業に限られない。

(参考) 経済産業省令和5年度予算案

経済産業政策局産業人材課
経済産業政策局経済社会政策室

大企業等人材による新規事業創造促進事業

令和5年度予算案額 **6.0 億円** (**6.5 億円**)

事業の内容

事業目的

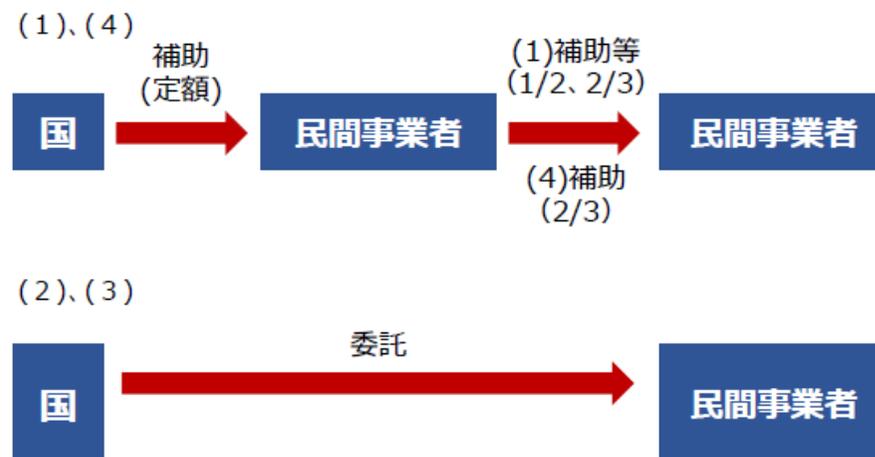
日本では、ヒト・モノ・カネのリソースは大企業に集中している一方、大企業では既存事業を多く抱えており、新規事業創造やそれに必要な創造性を有する人材の活用に十分なリソースを投入し難い環境にあります。本事業により、大企業等に埋もれている人材に対する創造性等を磨くためのリカレント教育や、出向等の形で自ら起業して行う新規事業創出等を支援するとともに、こうした人材を活かせる企業組織への変革を促し、更にフェムテック等の活用により、創造性の源泉となる人材多様性を確保することにより、「個」・「組織」の両面から、新規事業創造を促進します。

事業概要

- (1) 出向起業等による新規事業創造の実践
新規事業創造の促進のため、大企業等の人材が出向等の形で、自ら起業する場合に事業費への補助等を実施します。
- (2) 創造性リカレント教育を通じた新規事業創造の促進
創造性を磨き直すためのリカレント教育の支援を実施します。
- (3) 創造性を持つ主体等を活かす組織への変革
人材の価値を最大限に引き出すことで中長期的な企業価値向上につながる人的資本経営の実践に向け、人的資本経営コンソーシアムの運営等を実施します。
- (4) 企業の創造性の源泉となる人材多様性の確保
フェムテック等を活用したサポートの浸透を通じて、ライフイベントに起因する離職率を低下させ、企業における人材の多様性確保を図ります。

事業スキーム (対象者、対象行為、補助率等)

※ (1) ~ (4) は事業概要説明内の各項目を指す。



成果目標

- (1)~(4)までの各事業において、以下の達成を目指します。
- (1)出向起業スタートアップの累積創出件数が100社以上
 - (2)リカレント教育プログラムを受講した者のうち、新規事業創出に従事している者の割合が70%以上
 - (3)CHRO設置済み又は設置予定の企業比率が50%以上
 - (4)フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金の間接補助事業におけるプレゼンティーズムの損失割合が40%以下

フェムテック等サポートサービス実証事業

新しい当たり前をつくり
女性が働きやすい社会を

Femtech



<p>株式会社Kide Public 産婦人科のオンライン診療サービスを提供する。産婦人科のオンライン診療サービスを提供する。産婦人科のオンライン診療サービスを提供する。</p> <p>2019年 2020年 2021年 2022年 100万円 100万円 100万円 100万円</p>	<p>株式会社産科医療連携推進委員会 産科医療連携の推進を目的とする。産科医療連携の推進を目的とする。産科医療連携の推進を目的とする。</p> <p>2019年 2020年 2021年 2022年 100万円 100万円 100万円 100万円</p>	<p>株式会社caFALONLINE, Inc. 女性の健康をサポートする。女性の健康をサポートする。女性の健康をサポートする。</p> <p>2019年 2020年 100万円 100万円</p>
<p>株式会社SUISEI ホテルCAFUNEの運営。ホテルCAFUNEの運営。ホテルCAFUNEの運営。</p> <p>2019年 2020年 100万円 100万円</p>	<p>株式会社SUISEI 人とチームの関係を前向きにとりかえる。人とチームの関係を前向きにとりかえる。人とチームの関係を前向きにとりかえる。</p> <p>2019年 2020年 2021年 2022年 100万円 100万円 100万円 100万円</p>	<p>第一生命株式会社 女性の健康をサポートする。女性の健康をサポートする。女性の健康をサポートする。</p> <p>2019年 2020年 2021年 100万円 100万円 100万円</p>
<p>株式会社careful 女性の健康をサポートする。女性の健康をサポートする。女性の健康をサポートする。</p> <p>2019年 2020年 100万円 100万円</p>	<p>株式会社ninpath 女性の健康をサポートする。女性の健康をサポートする。女性の健康をサポートする。</p> <p>2019年 2020年 100万円 100万円</p>	<p>株式会社第一生命 女性の健康をサポートする。女性の健康をサポートする。女性の健康をサポートする。</p> <p>2019年 2020年 2021年 100万円 100万円 100万円</p>

1. フェムテック等の活用による就業継続支援
(実証事業)

2. 女性起業家支援
(支援機関連絡会議、自治体向け研修)

現在の女性起業家支援施策

①「わたしの起業応援団」（昨年度：令和4年2月に第2回連絡会議を開催）

- 女性の起業を応援する地方金融機関や産業・創業支援機関等を中心とした「女性起業家等支援ネットワーク」を、経産省支援事業として各地に形成（平成28年度～令和元年度）。
- 令和2年度にそれまでに構築した各地のネットワークを接続する「わたしの起業応援団」を経産省を事務局として創設。ネットワーク間の情報・ノウハウ共有や、全国的な女性起業の機運醸成を目指す。

わたしの起業応援団メンバーの例

- ・地方自治体
- ・男女共同参画センター
- ・女性起業家支援／キャリア支援機関
- ・産業・創業支援機関
- ・投資機関
- ・金融機関
- ・女性起業家

②自治体職員向け「女性起業家支援研修」（令和4年11月1日に開催）

- 各地の女性起業家を応援する重要なプレイヤーである地方自治体の職員向けに、経産省主催の研修を実施し、起業支援に必要な知識やノウハウの習得と理解を促す。
- 令和2年度・3年度に続き今年度も全面オンラインで実施。研修参加のための物理的移動等の制約要因を排除し、全国どこからでも容易に、効率的に受講可能な形式とした。

わたしの起業応援団 活動内容

メルマガ配信

「イベントを予定しているので参加歓迎」、
「情報やノウハウを持っている人は連絡ほしい・
次回発信してほしい」、
「〇〇な人と連携したい」
など、会員が登録。事務局がまとめて配信。

オンラインウェビナー

会員は無料で自由に参加可能。（事前登録制）
女性、起業に関係する幅広いテーマで実施。
例えば・・・
女性が興味を持つような広報の仕方
オンライン相談会の開催スキル
うちの自治体・組織ではこんな支援を行っている
経産省の施策のうち本会に役立つような内容も、
定期的にご紹介予定。

公式HP開設

経産省HPに「わたしの起業応援団」
公式HPを開設。
<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/joseikigyoka/index.html>
会員の組織名のほか、希望者はHPや支援策も
掲載可能。



自己PR・自己紹介（動画配信）

会員同士の絆を深めることを目的として、
各地の紹介・PR動画を会員間で共有。

「うちの自治体の良いところや名産の紹介」など
女性起業家支援に直結しない内容でもOK。

「ここで実際に女性の相談に乗っています」
といった実際の活動の場の紹介もOK。

ロゴマーク・キャラクター

「わたしの起業応援団」ロゴマーク・
キャラクターを作りました！

名刺やパンフレットなどに使えます。



会員同士の連絡先共有

会員同士で気軽に連絡が取れるよう、
組織名、担当者名、連絡先、コメントを
掲載したリストを会員に共有。

全国の会員と繋がることが可能！

「わたしの起業応援団」ネットワークを活用した女性起業家伴走支援事業 (令和3年度より実施)

- 令和3年度より、応援団の会員（有志）が連携し、起業を志す女性に実際に伴走支援を実施。
 - 参加支援機関がそれぞれの強みやノウハウを出し合うことで多角的な支援を実施し、一組織を超えた支援ノウハウを、ハンズオン支援を通じて共有することで、各支援機関のスキル向上、支援機関同士の連携強化につながった。
 - 令和4年度は、昨年度の事業で培ったノウハウやスキームをベースに、来年度以降のネットワークの更なる活性化と自走化に向けて、女性起業家の支援や連携のあり方を検討する。
- ⇒全国のさまざまな支援機関が応援団として連携するメリットを最大化。

